

当社開発機器が省エネ大賞「省エネルギーセンター会長賞」を受賞 ヒートポンプ・チラー「ウルトラハイエフ」 氷蓄熱式パッケージエアコン「氷蓄熱ビル用マルチ EXG50」

今年で10回目を向かえた省エネ大賞（主催：財団法人省エネルギーセンター）に当社電気利用技術研究所エネルギー効率利用グループ 空調・熱供給チームが開発した空調機2件が選ばれた。

募集に対してはこれまでで最多の84件の応募があり、学識者、専門家による省エネルギー性、省資源性、独自性等の見地から厳正な審査が行われ、当社開発機器2件を含む19件が選ばれた。



受賞する電気利用技術研究所 宮原所長

受賞した当社開発製品は以下のとおり。

- ヒートポンプ・チラー「ウルトラハイエフ Ultra High Efficiency」(当社単独受賞)

ウルトラハイエフは、海水、河川水、下水等の未利用エネルギーを活用した地域冷暖房システムの普及を図るため、腐食性の高い海水でも直接通水できる高効率ヒートポンプである。

理論効率の優れた新冷媒サイクル(ローレンツサイクル)を実現し、高効率圧縮機、エコノマイザシステム等を搭載して、大幅な省エネルギーを達成したもので、一台で冷暖房・氷蓄熱・熱回収(冷温同時取出)ができ、全ての運転モードで優れた省エネ性を発揮する。

このウルトラハイエフは、現在建設中の名古屋港水族館2期工事でも設置され、同水族館では、平成12年末から運転を開始する予定である。

- 氷蓄熱式ビル用マルチエアコン EXG50
(当社、ダイキン工業㈱受賞)

EXG50は、インバータ制御による省エネルギー性の高い個別空調システムに、氷の利用量を最適に調節できる気液冷媒混合回路や高性能室外熱交換器などの新技術を搭載した氷蓄熱式ビル用マルチエアコン



ヒートポンプ・チラー「ウルトラハイエフ」



氷蓄熱式パッケージエアコン「氷蓄熱式ビル用マルチ EXG50」である。

冷房時に昼間の消費電力の約50%を夜間にシフトでき、しかも夜間の製氷効率を高め、同クラストップレベルのエネルギー効率を達成するとともに、年間の電気代を約40%節約できる。